

# 核兵器をなくすため 医師・医学者が率先して…

## 「設立発起人の集い」での発言

七月五日に開催された「設立発起人の集い」では、参加者から核兵器問題に対する思いと「会」への期待が述べられました。全員の発言要旨を紹介します。（発言順）



設立発起人の集い（7/5、名鉄トヤマホテル）

### 中瀬真一先生

これからは、医師も社会との関わりを持ついかねばならないと常々考えていた。純真な気持ちから核兵器の廃絶を求めて社会にむかって発言することは、我々医師として大変意義がある

（発言順）

ことと思う。僭越ながら「呼びかけ人」の一人となつた。予想を上回る「発起人」の承諾者に驚き、喜んでいた。

富山で戦災にあい障害を受け、戦争反対の気持ちは以前から強く持っていた。「思想を超えて行動を…」

が結成されると聞いて、「どうしても」との思いで来た。八三年にスイスへ行つたとき、病院がまるごと避難できる「地下壕」があると聞いた。何とムダなこと

と思つた。

### 深山正之先生

戦争体験者として、患者の生命と健康を守る医療人として、核兵器の廃絶を願うのは、当然である。

「発起人」が多数となり、「呼びかけ人」の一人として、大変嬉しく思つてゐる。

富山で戦災にあい障害を受け、戦争反対の気持ちは以前から強く持つていた。その後、ショックを受けた。その後、何度も原爆記念館を訪れ、その都度、悲惨さに胸を痛めた。この度の「会」の設立は、大変意義あること

と思つた。

### 山本恵一先生

佐々先生や片山先生が尽力されているのに、ぐずぐずしてはいけない、との思いでかけつけた。七月十五日の福井の空襲で、近所の人の死体をかきわけ逃げ延びた記憶は今でも鮮明だ。外科学は、戦争と共に進歩してきたといわれている。（いいことでないが…）

知人が広島で亡くなつたり、被害を受けたことに大きなショックを受けた。その後、何度も原爆記念館を訪れ、その都度、悲惨さに胸を痛めた。この度の「会」の設立は、大変意義あること

と思つた。

（発言順）

（発言

太田真治先生

「戦争を知らない世代」

——三十三歳の歯科医。肥

田先生が、被爆体験を生々

しく語られた講演テープを

聞いて、「核兵器はなくさ

ねば……」との思いを強めた。

私も顔をラジウムで治療し

た結果、ケロイドが残って

いる。人殺しの道具として

の核兵器は、是非廃絶すべ

きと思う。

林 吾郎先生

核兵器廃絶は、みんなの  
思いだ。地球を守るために  
は、この気持ちがみんなの  
力にならねば……と思う。  
「会」に期待する。

田中悌夫先生

核兵器廃絶は、みんなの  
思いだ。地球を守るために  
は、この気持ちがみんなの  
力にならねば……と思う。  
「会」に期待する。

小熊清史先生

核兵器廃絶は、みんなの  
思いだ。地球を守るために  
は、この気持ちがみんなの  
力にならねば……と思う。  
「会」に期待する。

私の誕生日が一九三一年七  
月十六日。そして、富山で  
この「会」が結成されるの  
である。これは、偶然に日

核兵器廃絶は、みんなの  
思いだ。地球を守るために  
は、この気持ちがみんなの  
力にならねば……と思う。  
「会」に期待する。

一九四五七月十六日だ。  
元來争いごとがきらいで  
ある。医師・医学者として  
のヒューマニズムに基づく、  
純粹な気持ちからの「会」  
の趣旨に賛同する。私は、

が同じというだけでなく、  
何かの因縁を感じる。「会」  
の発展を願う。

核兵器廃絶の問題では、  
私なりに若いころから努力

してきました。私の病院でも最

近、ようやく若い職員が関

心を持つようになり、運動

にも参加しつつあり喜んで

いる。「会」が大きく発展

することを願う。

高野昇治先生

「会」の設立は、私の願  
いであり、理想のように思つ  
ていて。様々な方々が、賛  
同・参加いただき大変喜ん  
でいる。「発起人」の皆さん  
に負けないよう私も努力  
したい。立派な「会」にな  
るよう今後ともよろしくお  
願いしたい。

品川俊男先生

「呼びかけ人」の一人に  
加えて戴いて、光栄に思つ  
ている。昭和三十九年、富  
山赤十字病院に入局、まも  
なく原爆医療に関わった。  
健康手当」受給者は八十  
二名である。成人病の死亡  
者は二〇万人（一年で）に  
はならない。原爆は一発で  
数十万人をも殺す。人の生  
命を助けるのが医師のつと  
めなら、核兵器廃絶をなく

なくなる。いま「会」をつ  
くる意義がここにある。

あと十年遅れると伝えられ  
ることはない。世界がくるよう頑張り  
ましょう。（医薬大）

村田 巧先生

承諾に喜んでいる。世界的  
に有名な小児科医であるア

メリカのスポーツ博士は、  
核兵器廃絶の運動に率先し

て参加している。日本の医

師は、これまで今一つかか  
わりが弱い感じを持つてい  
る。被爆国の医師が率先し  
てすすめなくては、おかし  
いと思っていた。結成の運  
びとなり嬉しく思う。

すことは、医師としての最  
も重要な役割である。県下  
すべての先生が参加できる  
ような「会」にしたい。

~~~~~ 入会ハガキの  
メッセージから ~~~~

◆核のみならず軍備が不必  
要な世界がくるよう頑張り  
ましょう。（医薬大）

◆真に核兵器廃絶を訴える  
ものであれば、本当に素晴らしい。心から応援します。

（上市厚生病院）

◆人の生命を尊ぶのが医師  
の使命。それを破壊する最  
大の凶器、一瞬に全世界の  
生命を奪う核兵器は、いか  
なる理由があつても廃止す  
べきです。（黒部市民病院）

◆真理は一つ、戦争は絶対  
悪。（富山市・内科）

◆核兵器が世界中に存在し  
ていることを非常に憂いで  
いた。微力だが何か私でも  
協力でき嬉しく思う。

（砺波総合病院）

